

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	一般小売店 [酒]（店員）	来客数の動き	・近隣に新しい商業施設とオフィスビルができたため、ランチの時間帯は今までよりも来客数が増えている。
		スーパー（管理 担当）	販売量の動き	・メディア効果で品薄となっていたバナナの供給量が増え、好調となっているほか、精肉では割安感のある鶏肉や豚肉が好調に推移している。衣料品は相変わらず不振であるものの、全体としては良い形で推移している。
		高級レストラン （支配人）	販売量の動き	・販売量と単価は前年をやや上回っているが、来客数は前年を下回っているなど、必ずしも全体的な状況が良くなっているわけではない。
		美容室（店員）	販売量の動き	・客の間でボブスタイルの髪型が人気であり、パーマやカラーといったオーダーが増えている。それに伴い、スタイリング剤などの売上が前年比で200%を超えている。
	変わらない	一般小売店[時 計]（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少が続いているほか、若年層の来客が減ったことで、客の平均年齢が上がっている。一定年齢以上の客には、年金などの影響を大きく受ける傾向がみられる。
		一般小売店[事 務用品]（経営 者）	販売量の動き	・商品の入荷量、出荷量共に、依然として低水準で推移している。
		百貨店（売場主 任）	来客数の動き	・客は株価や原油相場の動きに敏感になっており、消費が冷え込んでいる。また、スーパーを含め、食品関係の価格の上昇が続いている。
		百貨店（売場主 任）	来客数の動き	・食料品の生鮮売場は、ほかの売場に比べると落ち込みは小さいものの、単価の高い肉や魚の動きは悪い。全体的な売上については、前年比で3～4%落ちている。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・客の買物が必要最小限になっている。特に、最近は食料品でその傾向が目立っている。
		スーパー（経営 者）	お客様の様子	・今月の前半は天候不順であったものの、消費者の間で家庭での食事が増えているため、来客数、客単価、販売量共に堅調に推移している。また、嗜好品のほか、アルコールはビール類の値上げで苦戦しているが、菓子類は非常に好調である。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・客1人当たりの販売量は若干増えているものの、来客数が増えず、同業他社との競争も激化している。
		スーパー（経 理担当）	販売量の動き	・今月は例年よりも気温が高く、本来売れるべき商品が売れなかったため、売上がやや伸び悩んでいる。
		スーパー（広 報担当）	販売量の動き	・需要の低価格商品へのシフトが強まっており、売上が苦戦しているほか、クリスマスケーキやおせち料理の予約も動きが鈍い。また、今月は気温が例年よりも高かったため、季節商材も苦戦している。
		コンビニ（店 長）	来客数の動き	・客の間で食品に対する不安が広がっているものの、タスポの導入で来客数が増え、販売量も増加している。
コンビニ（マ ネージャー）	来客数の動き	・例年に比べて気温が高く、おでんや中華まんといった冬物商材が低迷している一方、飲料の売上は前年割れとなっている。さらに、今まで衝動買いがみられたチョコレートやあめなども、最近になって落ち込んでいる。		
乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・ガソリン価格は一時期より下がっているものの、新車の販売にはつながっていない。依然として、客の間では買い控え感が強い。		
その他専門店 [宝飾品]（販 売担当）	競争相手の様子	・展示会への来客数が減少しており、販売側の意気も上がらない状況となっている。		

	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・過去最悪であった9月に比べれば、今月は少し持ち直している。ただし、今月は繁忙期に当たるにもかかわらず、前年比では若干のマイナスとなっていることから、決して良い状況ではない。例年、このシーズンに増える金融機関の利用も激減している。
	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・宿泊に関しては、料金を下げると一時的に需要は高まるものの、通常料金での販売に戻すと客足が鈍くなる。
	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・国内旅行の予約受付は前年比105%、海外旅行は80%と、海外旅行の不調が続いている。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、平均購買単価共に、低位で安定した状況となっている。
	その他レジャー施設 [イベントホール]（職員）	来客数の動き	・音楽系のイベントに関しては、来客数、単価共に大きな変化がない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数だけでなく、客単価や販売量も落ちており、全体的に業況がかなり悪化してきている。
	商店街（代表者）	競争相手の様子	・来街者の減少が目立っている一方、近隣の食品スーパーにはぎわっているなど、商品の品ぞろえや新鮮さで大きくリードされている。
	一般小売店 [鮮魚]（営業担当）	販売量の動き	・3か月前に比べて、販売量が10%落ちている。
	一般小売店 [菓子]（経営企画担当）	販売量の動き	・10月と7月の売上前年比を上位5店舗の平均でみると、10月が94.5%、7月が97.9%と少しずつ悪くなっている。
	一般小売店 [食料品]（管理担当）	単価の動き	・販売量は堅調に推移しているものの、原材料費の上昇で利益が減少している。
	一般小売店 [衣服]（経営者）	販売量の動き	・残暑が続いて秋物衣料の動きが悪いほか、客の財布のひもも固い。
	一般小売店 [菓子]（営業担当）	販売量の動き	・前月と比較しても、販売量はそれほど伸びていない。食に関する問題が次から次へと出てきており、不透明な状況となっている。
	一般小売店 [精肉]（管理担当）	それ以外	・当社の店舗だけではなく、競合店も含めて客足が著しく減少している。競合店との競争といった次元ではなく、消費全体が明らかに停滞している。
	一般小売店 [カメラ]（販売担当）	来客数の動き	・客単価が低下しているほか、最近では特に来客数の減少が激しいなど、大変な事態となっている。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・特選紳士服などの高額品の動きが更に鈍くなっているほか、まとめ買いも減っている。客の価格に対する感覚が、より一層厳しくなっている。
	百貨店（企画担当）	それ以外	・店舗の改装工事により、閉鎖される売場が出てきている。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・歳暮の特別優待を始めたが、今一つ来店客の盛り上がりには欠けている。
	百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・建て替え工事を行っているため、売上目標は前年よりも下げられているが、それすらクリアするのが大変である。売場の縮小で商品数も減っているため、バゲン商材の強化で何とか持ちこたえている。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・客はその日のチラシで少しでも安い店を探すなど、目玉商品を追いかける動きが顕著になっている。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・例年に比べて気温の高い日が多いため、秋冬物商材やホットメニューの動きが良くない。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・客の節約志向が強まっているほか、平均気温が高かったことで、衣料品の販売点数は前年比で1割減となっている。特に、下着や婦人関連商材の売行き不振が目立っている。
スーパー（開発担当）	販売量の動き	・各店舗で売上が前年を下回っている。	
スーパー（管理担当）	販売量の動き	・生活必需品以外では、客の買い控え傾向が強まっている。	
コンビニ（経営者）	それ以外	・学生数の減少で近隣の専門学校が閉鎖された後、新しい入居者がなく、テナントが空いたままになっているため、来客数が減少している。	

コンビニ（店長）	単価の動き	・来客数は前年比103%程度で推移しているが、客単価の落ち込みが厳しく、売上は前年比で減少している。
衣料品専門店（営業・販売担当）	販売量の動き	・スーツから洋品雑貨まで、価格にかかわらず動きが悪い。
家電量販店（経営者）	それ以外	・近隣で会社が倒産した影響で、客の消費マインドが冷え込んでいる。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・円高や株価急落など、景気のますます悪くなる要素が多く、来客数や販売台数はここ数か月で急速に落ち込んでいる。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売台数が前年を下回っており、ほかの店舗も目標を達成できそうにない。
その他専門店【医薬品】（店員）	来客数の動き	・3か月前から来客数が若干減少し、購入商品数も少なくなっている。
その他専門店【スポーツ用品】（経理担当）	お客様の様子	・株価の下落により、ゴルフクラブなどの売行きが良くない。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客の勤めている会社が倒産したという話が後を絶たない。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・来客数が一向に増えないほか、客単価も低下傾向となっている。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・依然として来客数の前年比が回復しないほか、客単価も前年割れとなっている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・今月は、来客数ゼロの日が2回の週が2週もあるなど、今までに考えられない状態となっている。
その他飲食【コーヒーショップ】（店員）	来客数の動き	・喫茶需要は生活必需品ではなく、嗜好品に近いため、抑えられる傾向にある。最近では、来客数が明らかに減少している。
観光型旅館（経営者）	お客様の様子	・9月以降はインターネットでの予約がストップするなど、客の動きが悪化している。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊は韓国からの客が大きく減っているが、国内の団体客を中心に好調で、全体としては前年を上回っている。ビジネス客は低価格のホテルへ客が流出しているものの、高価格ホテルから当ホテルへ流れてくる動きもみられる。一方、宴会は新社長の就任披露パーティーといった特需もあり、件数、売上共に好調であったものの、レストランはランチタイムを中心に来客数が落ち込んでいる。
都市型ホテル（マネージャー）	来客数の動き	・宿泊部門では、これまで堅調であった海外からの観光客の動きが頭打ちとなりつつある。また、レストランの来客数も下降気味となっている。
都市型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・10月の宿泊は、好調であった前年並みとなっているほか、宴会も大型婚礼が入り、前年並みの売上となっている。一方、一般宴会は全体的に小規模であるほか、レストランは最近になって来客数が落ちており、前月に続いて売上が悪化している。
タクシー運転手	来客数の動き	・タクシーの利用を必要最小限に抑える動きが強まっている。それに伴って駅で客を待つ時間が増え、回転が悪くなっている。
通信会社（経営者）	お客様の様子	・取引先が倒産する事態となっている。
通信会社（社員）	お客様の様子	・10月の後半になっても年末に向けての盛り上がりがなく、客の間ではデジタルテレビなどの大型商材の買い控えが顕著にみられる。
通信会社（企画担当）	競争相手の様子	・業界大手2社のアミューズメント施設が閉鎖されるほか、業界の展示会でも、目立った商品が見当たらない状況である。
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・客の間では完全に不景気の雰囲気広がっており、更に買い控えが進んでいる。
競輪場（職員）	単価の動き	・今月の客単価は11,901円と、7月の12,360円に比べるとやや悪くなっている。

	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	販売量の動き	・全体的な集客の勢いはあまり変わらないが、物販系の店舗では客の動きが弱まっている。
	美容室（店長）	来客数の動き	・当初は予約がある程度入っていたものの、キャンセルが増えた結果、トータルでは前年を下回っている。
	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	来客数の動き	・今年に入って以来、生徒数がなかなか増えず、状況としては芳しくない。
	住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・全体的な不動産の仲介件数は安定しているものの、新築分譲やマンションへの需要はかなり減少している。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・住宅ローン減税の拡充が検討されているが、方針が決まるまでの様子見や株価急落による消費マインドの低下で、モデルルームへの来場の動きが止まっている。
	住宅販売会社（総務担当）	販売量の動き	・土地価格が下がってきており、客は様子見の状態となっている。また、金融危機が進行する心配もあり、契約に至るまでに時間が掛かっている。
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	お客様の様子	・業界では銀行による貸し渋りがみられる。
	その他住宅〔展示場〕（従業員）	お客様の様子	・住宅展示場への来場者は非常に慎重になっており、住宅ローンを借りてまで家を建てるべきかどうか、見極めている感がある。
悪く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・客単価が低下しているほか、売上も前年を下回っている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・今月は暖かく、まだ夏服の人も多いため、秋物商戦は不調に終わっている。
	一般小売店〔衣服〕（経営者）	単価の動き	・ここ数か月は、月を追うごとに客単価の低下が顕著となっており、どこまで下がるのか分からない。
	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	競争相手の様子	・各店舗の売上は減少傾向にあり、同業他社も同様な状況となっている。
	一般小売店〔精肉〕（管理担当）	販売量の動き	・日常の買物が全体的に減っており、得意先や直営店でも買回り品の販売量や単価が悪化している。前年と比較すると、どの商品も悪い状況となっている。
	一般小売店〔衣服〕（経営者）	お客様の様子	・株価や為替の急変で、客の購買意欲が低下している。実際に、衣料品の売れるシーズンに入ったにもかかわらず、冬物衣料の売行きが非常に悪い。
	一般小売店〔野菜〕（店長）	それ以外	・金融危機の影響が、商品の売行きなどの面で表面化してきている。
	一般小売店〔雑貨〕（店長）	お客様の様子	・たばこの販売量は、タスポ導入前の8割まで戻ってきたものの、客のほぼ全員から景気が悪いとの声が聞かれる。
	一般小売店〔花〕（店員）	お客様の様子	・日用品が値上がりしているほか、金融不安もあるため、客の購買意欲が低下している。
	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・例年よりも気温の高いことが、秋物衣料の動かない理由ではない。客の財布のひもは一層固くなっており、最低限の実需品しか動いていない。ただし、立ち上げを早めた歳暮の受注は順調に推移している。
	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・来客数は前年並みであるが、購買につながらない。客が商品の良さに納得すれば買ってもらえるものの、判断が非常に厳しいため、売上はかなり厳しい状況である。
	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・高額品の動きが非常に悪く、購入の際にはワンランク下げられるほか、購入数も絞られる。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・優良顧客に高級時計や美術品の催しを紹介しても、反応が全くみられない。
	百貨店（商品担当）	単価の動き	・以前は3～4万円のアクセサリがミセス層に人気であったが、今は2万円以上になると動きが全くない。
百貨店（マネージャー）	単価の動き	・客の財布のひもが非常に固くなっており、客単価、売上共に前年比で約2けたのマイナスとなっている。	

百貨店（売場担当）	販売量の動き	・来客数は回復しつつあるものの、買上げ率は前年比で10ポイント近く低下している。なかでも衣類の売行きが悪く、気温の影響もあるものの、秋冬物の立ち上がりが非常に悪い。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比で5%ダウンした影響が大きく、今年度上期は堅調であった食料品も動きが悪くなっている。一方、来客数に対する買上げ率は2%上昇したものの、商品単価は1%低下している。
スーパー（企画担当）	販売量の動き	・株安や円高で景気悪化懸念が広がり、客の購買意欲が低下している。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・デザート類の動きが悪いほか、弁当やパンといった主食のみの購入が増え、ついで買いが減少している。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・販売量が前年の半分に届かない店や、40%台という店もあり、婦人服業界は厳しい状況となっている。
衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・客のなかには株価の下落で資産を減らした人が多い。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・今月は中古車買取り価格の査定台数が、1店舗当たりで前年比54.5%と落ち込んでいる。成約率も通常は45%程度であるが、今月は37.9%と非常に悪い。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・ここ数か月で取引先の経営状態が急速に悪くなっている。それ以外の客も、株価急落などの影響で新しい商談ができない状態となっている。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・世界的な株価下落がこれだけ話題になっているため、お金を持っている人も出し惜しみしている。
住関連専門店（店長）	それ以外	・中小メーカーの倒産をよく耳にするなど、業界全体が冷え込んでいる。
その他専門店【医薬品】（経営者）	販売量の動き	・客1人当たりの買上げ点数は、今年の8月から全社で落ち込みが続いている。9月は前月比で0.4個減、今月も0.2個減となっている。
その他専門店【宝石】（経営者）	お客様の様子	・世界的な株価の暴落で客の心理が冷え切っている。当店では買取りも行っているが、金やプラチナの相場暴落により、厳しい状態となっている。
その他専門店【食品】（経営者）	競争相手の様子	・円高により、競合品である輸入品の価格が下落しているため、厳しい状況となっている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・政情不安、物価の不安定、金融市場の混乱の三重苦により、客が来店に消極的となっている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・近くの大型ショッピングセンターでも来客数が減っているが、商店街は一段と人通りが少なくなっている。
観光型旅館（経営者）	お客様の様子	・利用客数が前年比で15%ほど減少している。
観光型旅館（団体役員）	来客数の動き	・今年に入って来客数が前年を上回っているのは3か月だけと、厳しい状況となっている。
都市型ホテル（支配人）	販売量の動き	・ガソリン価格は多少下がったものの、株安や円高、原材料高などの影響が出ており、焼け石に水である。
都市型ホテル（役員）	お客様の様子	・今月は宿泊、宴会、料飲共に売上が前年割れとなっている。比較的順調であった宴会部門がついに落ち込んできたほか、レストランも夜の利用が更に落ち込んでいる。
旅行代理店（店長）	来客数の動き	・燃油サーチャージの高騰による影響のあった海外旅行だけではなく、国内旅行の受注も減少している。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ドルやユーロに対する円高は、海外旅行に追い風のはずであるが、申込は全く増えていない。
旅行代理店（広報担当）	お客様の様子	・円高で海外での買物にはメリットがあるものの、生活の維持に精一杯で、旅行に行くところではないという客が増えている。
タクシー運転手	競争相手の様子	・夜の人通りが少なく、空車のタクシーが多くみられる。
タクシー会社（経営者）	お客様の様子	・客の財布のひもが固くなっており、タクシーは使わないという節約傾向が更に強まっている。また、法人客でも経費削減が進み、タクシーチケットの利用が減少している。
通信会社（経営者）	お客様の様子	・携帯電話では、2年間などの割賦販売が導入されて買換えが減ったほか、消費の冷え込みによる買い控えが増えている。

		その他サービス [ビデオ・CD レンタル] (エリア担当)	販売量の動き	・株価の下落などで、物販売上が前年割れとなっている。
		住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・今回の金融危機の影響を全面的に受けており、客の動きが非常に悪くなっている。
		住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・世界の金融危機による消費マインドの急激な低下により、モデルルームなどへの来場者数が激減している。
		その他住宅 [情報誌] (編集者)	お客様の様子	・客の購入意欲減退で、マンションの販売現場は厳しい状況であるが、それ以上に不動産会社の資金繰りの悪さが顕著になっている。更なる値引きにより、早期に資金回収を図る動きも出てきている。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	化学工業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・得意先ごとにみると決して良くはないが、高付加価値商品中心の販売戦略に切り替えたことで、販売額が増えている。
		輸送業 (営業担当)	取引先の様子	・円高の影響により、輸入家具のほとんどで利益が出ている。
		コピーサービス業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・マンション販売会社からの、値引きの文字を入れたパンフレット作成依頼が増えている。また、衣料関連企業は商品の早期処分を図っており、例年にないキャンペーン商品の作成依頼が増えている。
	変わらない	出版・印刷・同関連産業 (情報企画担当)	受注量や販売量の動き	・輸出の悪化を予想し、外需の影響をあまり受けない医療業界に取引をシフトさせていたため、不況の影響はあまり受けていない。
		一般機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・鉄鋼関連の取引先からの受注量は減っておらず、今のところ急激に業況が悪化している感はない。
		建設業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・前年に比べて受注が伸び悩んでいる。
		輸送業 (営業所長)	受注量や販売量の動き	・仕事量に大きな減少はみられないが、景気が下降気味になれば、すぐに物流費の見直しが行われるため、楽観はできない。
	やや悪く なっている	繊維工業 (団体職員)	受注量や販売量の動き	・外注加工費の値上げで駆け込み受注が発生し、業界の一部では生産量が増加しているものの、全体的には受注が減少している。
		繊維工業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・先の催事では、集客が前年比で3割減、売上は4割減と落ち込んでいる。低価格商品しか動いていない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・今月から原紙価格が値上がりしたため、製品価格の値上げを行っている。客は事情を理解してくれているが、なかなか受け入れてもらえない。
		金属製品製造業 (総務担当)	取引先の様子	・不動産やマンション関連業界の信用不安や、ゼネコンの倒産の増加により、工事の延期や中止が増えている。
		電気機械器具製造業 (経営者)	取引先の様子	・3か月ほど前から、メーカーにおける増産計画がかなり修正され、延期が増えている。
		電気機械器具製造業 (営業担当)	取引先の様子	・多くの仕入先から値上げを要求されている一方、受注量は減っている。
電気機械器具製造業 (企画担当)		受注量や販売量の動き	・先月の売上は前年を上回ったものの、今月はまた前年を大きく下回っている。世界の金融危機で消費者の住宅購入意欲が大幅に低下しており、関連商品の受注が悪化している。	
電気機械器具製造業 (営業担当)		受注量や販売量の動き	・株価が急落するなど景気が悪いいため、修理の依頼も減っている。	
電気機械器具製造業 (企画担当)		取引先の様子	・取引先が生産コストの低い中国へシフトしており、受注の減少懸念が出てきている。	
建設業 (経営者)		受注価格や販売価格の動き	・1件当たりの受注価格がかなり低くなってきている。	
建設業 (経営者)	取引先の様子	・最近の株価の急落や円高により、取引先の設備投資計画に影響が出ている。		
輸送業 (総務担当)	取引先の様子	・既存顧客の動きが低迷している。		

	金融業（営業担当）	取引先の様子	・不動産業や建設業の取引先では、販売の低迷で収益や資金繰りが更に悪化している。また、小売、卸売業でも収益の悪化がみられる。	
	金融業（支店長）	取引先の様子	・年間30棟ほど販売している建売業者では、売行きがかなり悪化している。先日も2割ほど値下げしてようやく売れるなど、悪い状況となっている。	
	不動産業（経営者）	取引先の様子	・建売住宅の素地取得に際して、業者が価格面で非常に慎重になっている。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・テレビスポットCMの中止や、規模の縮小を表明している取引先が増えている。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前から予定していた仕事のキャンセルが出ている。	
	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・顧客の業界全体が相当冷え込んでいる。	
	その他非製造業【衣服卸】（経営者）	受注量や販売量の動き	・金融情勢の変化による影響は、消費者の所得に直接出ていないものの、財布のひもは確実に固くなっている。その一方、低価格品では従来よりも売行きが伸びている物もあり、客による選好が厳しさを増している。	
悪くなっている	食料品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・取引量は減っていないものの、原料や資材の値上げが続く、いまだに一部のメーカーからは再値上げの要請が来ている。また、赤字覚悟の競合先が値引き販売を増やすなど、市場を乱している。	
	化学工業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注の減少で業績が悪化しているが、特に食品関係の悪化が目立つ。	
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・荷動きが悪く、受注量が激減している。	
	金属製品製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・不動産会社の相次ぐ倒産や資金繰りの悪化により、新築マンションなどの計画中止が増えている。	
	金属製品製造業（営業担当）	競争相手の様子	・同業者では平均で売上が2割減少し、なかには4割減の企業もある。	
	一般機械器具製造業（設計担当）	取引先の様子	・受注案件がない状態である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	それ以外	・9月以降は、受注量や販売量が急激に落ちており、金融機関の融資姿勢も露骨に変化している。	
	電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・業界が上向き時期であるにもかかわらず、一向に売上が伸びない。	
	電気機械器具製造業（宣伝担当）	それ以外	・これまで堅調であったAV関連商品の荷動きに若干の鈍化傾向がみられるほか、そのほかの商品も前年を下回る厳しい状況となっている。	
	その他製造業【履物】（団体役員）	受注量や販売量の動き	・輸入品の増加で国産品への需要が減少しているが、新規販路の開拓は非常に困難な状況である。	
	不動産業（営業担当）	取引先の様子	・不動産や戸建住宅の契約率が大きく低下しており、分譲マンションや戸建業者の間では、住宅を建てずに更地で売却する動きが増えている。	
	新聞販売店【広告】（店主）	受注量や販売量の動き	・最近では新規の購読者よりも、解約する購読者の方が多くなっているため、折り込み件数も落ち込んでいる。	
	広告代理店（営業担当）	競争相手の様子	・最近になって同業他社の倒産や廃業が増えている。	
	その他非製造業【機械器具卸】（経営者）	競争相手の様子	・最近、極端に引き合いが減少している。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	-	-	
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・この数か月、派遣先企業からの求人数は前年比で約2割の減少が続いている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・一般企業への派遣はそれほど落ち込んでいないものの、IT関係では予定されていた案件が年明け以降に持ち越されるなど、少し状況が悪くなっている。

	人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・業績の悪化に伴い、金融や不動産業界からの転職希望者が増えている。ただし、企業側に採用意欲はあるものの、求めるレベルが非常に高くなっており、以前にも増してマッチングが難しくなっている。
	新聞社 [求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・新聞だけでなく、求人広告全体が低調となっている。大手電機メーカーによる設備投資効果に期待していたが、若干の求人案件はあるものの、効果と呼べるほどではない。
	新聞社 [求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・今月は大きなイベントがあったにもかかわらず、売上はほぼ前年並みとなっている。いかに前年に比べて、売上のペースが落ち込んでいるかが分かる。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新規求人は前年比42.4%の減少と、13か月連続のマイナスとなっている。特に産業別にみると、医療、福祉以外は減少している。
	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・管内の主要企業に大型倒産や大規模な人員整理はみられないものの、事業主都合による離職が増加傾向にある。さらに、賃金などの労働条件の良い事業所への転職希望が、在職者を中心に増えつつある。一方、雇用環境は非常に厳しく、安易な転職は更なる賃金低下を招くことから、転職を思いとどまる求職者も多い。全体としては、正社員を希望する求職者の増加が目立つ。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・今年に入り、有効求人倍率が前月を下回る月が続いている。
	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・新規求職者のうち、事業主都合の離職者が2か月連続で前年比2けた増となっている。
	民間職業紹介機関 (支社長)	採用者数の動き	・求人に対する応募人数は前年比120%程度で、面接人数も前年比105%と伸びている。それに対し、企業からの内定人数は前年比95%程度と落ち込んでいる。
	学校 [大学] (就職担当)	求人数の動き	・9月下旬から、企業の採用担当者による来訪が大幅に減少し、大学に届く求人票も少なくなっている。
悪く なっている	人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・今月に入って求人数がかなり減ってきている。
	人材派遣会社 (管理担当)	周辺企業の様子	・周囲の企業は、株価や為替の急変による影響で業況が悪化している。
	新聞社 [求人広告] (担当者)	それ以外	・新聞広告の投稿量が極端に減り、前年比で70%台となっている。
	新聞社 [求人広告] (営業担当)	求人数の動き	・求人広告は、新聞やチラシ、インターネット、フリーペーパー共に低迷傾向にあり、パート、アルバイトを含めて動きが少なくなっている。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・今月も求人数が前年比で大幅に減少している。2～3か月前までは、不況時こそ人材確保の好機とする企業もみられたが、今は求人を増やしている業界自体が見当たらない。
	民間職業紹介機関 (職員)	求人数の動き	・建設業を中心とした日雇求人数が、前年比で3割減、2年前に比べると5割減と落ち込んでいる。
	民間職業紹介機関 (営業担当)	採用者数の動き	・採用予定数の減少で、大学生の内定取消しが増えている。
	学校 [大学] (就職担当)	求人数の動き	・求人数が減少し始めている。